

室生ダム 淡水赤潮の発生確認と対応状況（続報）

独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所が管理する室生ダム貯水池において、職員による巡視等の結果、平成31年1月16日より渦鞭毛藻類ペリディニウム等による淡水赤潮の小規模な発生を確認しています。

発生状況に変化がありましたので、現在の状況及び取り組み等についてお知らせします。

1. 概要

■ 淡水赤潮の発生の確認

1月16日（水）10時に確認

■ 淡水赤潮を構成する渦鞭毛藻類

ペリディニウム等

■ 発生場所・規模（平成31年2月13日現在）

宇陀川 副ダム下流付近（2m×20m）、県取水口対岸（10×30m）、天満川 流入部付近（15m×50m）の3箇所です。県取水口付近で発生はしていません。また、発生箇所での臭気はありませんでした。

（発生箇所は下図参照）

淡水赤潮発生位置図 平成31年2月13日現在



2. 巡視の強化

ダム貯水池の淡水赤潮発生状況の監視を引き続き強化しています。

【参考】ペリニディウムとは

ペリディニウムは、植物プランクトンの渦鞭毛藻類に分類されます。細胞の縦と横に溝があり、溝にそってそれぞれ鞭毛が1本ずつあります。これらの鞭毛で水流(渦)を起こして、回転しながら運動します。

やさしい日本の淡水プランクトン図解ハンドブックより抜粋
編集 滋賀の理科教材研究委員会



【参考】淡水赤潮とは

湖沼・ダム貯水池の淡水域で発生する動植物プランクトンの異常発生現象のなかで、外観が海の赤潮に似て褐色ないし黄色味を呈しているものも多い。そのため、淡水赤潮と呼ばれる。

淡水赤潮は琵琶湖北湖や山間部のダムのような比較的貧栄養の水域でも発生する傾向がある。

ダム貯水池水質用語集より抜粋
編集 財団法人 ダム水源地環境整備センター